

2019/9 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)
 ①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**
 ②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**
 ③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
~New~								
9月6日	2019年9月30日 (月)21時まで	電子申請 web	一般財団法人国際医学研究振興財団 2019年度 海外留学助成の募集	一般財団法人国際医学研究振興財団 〒659-0021 兵庫県芦屋市春日町2-8 http://ifomr.or.jp/abroad/	疾病の病態生理の解明や予防・診断・治療に関連する基礎医学および臨床医学研究	【対象者】 1.日本国籍を有する者、または日本への永住が許可されている者 2.書類締切日に満40歳未満の者(女性研究者は45歳未満)あるいは、学位取得後5年未満の者 3.博士号をすでに有するか2020年3月末の取得予定、またはそれと同等以上の研究業績を有する者 4.海外での研究予定期間が2年以上の者 5.過去において、1年以上の研究留学の経験がない者 6.留学中の年間収入が500万円未満の者(本財団の助成金を除く) 7.2020年1月より12月末までに出生し、2年以上の海外留学を予定している者 8.海外の学術研究機関による受け入れの承諾を得ている者 【条件】 1.所属する施設の責任者の推薦があること (1)総合大学で、応募者の所属が大学院の場合は大学院研究科長、学部の場合は学部長、病院の場合は病院長、研究所の場合は研究所長です。 (2)単科大学では学長です。ただし複数学部・学科、大学院生の場合は(1)と同様とします。 (3)そのほかの研究機関では、その機関の代表者です。ただし複数の部局がある場合は、各部署長とします。 (4)推薦者が推薦できるのは一人です。 2.2019年12月25日(水)の面接および贈呈式に出席すること	1年あたり最大250万円/名(税金、保険料は個人負担)	原則2年間
9月6日	2019年9月30日 (月)消印有効	郵送	公益財団法人ニッポンハム食の未来財団 2020年度公募型研究助成事業の募集 (A)「共同研究助成」 (B)「個人研究助成」	公益財団法人ニッポンハム食の未来財団 研究助成事務局 担当 沖浦・小泉 〒305-0047 茨城県つくば市千現2-1-6 つくば研究支援センターA-24 TEL:029-893-4466, FAX:029-893-4360 E-mail: info@miraizaidan.or.jp https://www.miraizaidan.or.jp/specialist/	① 食物アレルギー対応食品に関する研究 ② 食物アレルギーの予防に関する研究 ③ 食物アレルギーの診断・治療に関する研究 ④ 食物アレルギーに関する工場内等での衛生管理に関する研究 ⑤ 食物アレルギーに関するその他研究(社会科学的な研究を含む)	国公立大学、公的研究機関、民間研究機関(企業含む)において、食物アレルギー関係領域の研究開発を行おうとする研究者、医師及び研究グループ。当財団研究助成の過去の採択者の応募も可能です。なお、当財団研究助成の過去の採択者が同一課題について申請を行う場合は、申請書の「継続の必要性」の欄も必ず記載ください。 ※重複申請について 両区分(A)、(B)を通して、一人の研究者が研究代表者として応募できるのは1研究課題です。また、個人研究申請者が他の課題の共同研究者となること、及び共同研究申請者(代表者)が他の共同研究者となることも認めません。限られた財源でできるだけ多くの優れた研究者を支援したいためです。なお、共同研究者として、複数課題に参画することは可能です。	(A)「共同研究助成」及び(B)「個人研究助成」の2種類に分類され、助成金総額は6,000万円 ※内訳の詳細は要項をご確認ください。	2020年4月1日から2021年3月31日(1年間)
9月6日	2019年9月30日 (月)必着	電子申請 (一部郵送する資料については期間末日の消印有効)	公益財団法人立石科学技術振興財団 ①研究助成(S)の公募	公益財団法人立石科学技術振興財団 事務局 〒600-8234 京都市下京区油小路通塩小路下る南不動堂町11番地 TEL:(075)365-4771, FAX:(075)365-3697 E-mail: info@tateisi-f.org https://www.tateisi-f.org/?page_id=3495	「人間と機械の融和」のあるべき姿を想定または提示し、統合技術およびプロトタイプの開発と機能検証、さらに可能ならば実証実験を目標とする研究プロジェクト ①生活・健康 ②交通・物流 ③生産(*) ④環境 (*)ここでは広義の生産のこと。すなわち、財やサービスあるいは付加価値を産み出す諸活動のことで、工業に限らず、農林水産業などにおける採取・育成の活動、販売・管理などの付加価値創出の活動も含む	(1)プロジェクトは、代表者1名と複数メンバーで構成されるものとします。 (2)代表者は次世代を担う日本在住の研究者とし、国内に継続的な研究拠点を有し、プロジェクトの申請書や報告書等の提出書類を日本語で作成し、研究期間中は当財団と日本語でコミュニケーションを取れる方とします。代表者は、国際協働、異分野融合、産学連携などを念頭に置いて、メンバーを集めてプロジェクトを構成します。また助成期間中は、助成費の予算と実績を管理しながらプロジェクトを推進、管理します。 (3)プロジェクトの代表者とメンバーは、本助成に申請中の他のプロジェクトもしくは本研究助成(S)に採択されて進行中のプロジェクトの代表者またはメンバーであってはなりません。	総額30,000千円を上限	2020年4月1日から原則3年間とし、2023年3月31日までに終了すること
9月6日	2019年10月31日 (木)消印有効	郵送	公益財団法人立石科学技術振興財団 ②研究助成(A)(B) ③研究助成(C) の公募	公益財団法人立石科学技術振興財団 事務局 〒600-8234 京都市下京区油小路通塩小路下る南不動堂町11番地 TEL:(075)365-4771, FAX:(075)365-3697 E-mail: info@tateisi-f.org https://www.tateisi-f.org/?page_id=201	エレクトロニクス及び情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進するための研究	① 研究助成(A)と(B)には、日本国内に居住する研究者であれば応募できます。 ② 研究助成(C)には、助成期間に日本国内に居住し、博士課程(後期)に在学する学生のみ応募できます。(予定を含む) ③ 研究助成(A)(B)(C)とも、同一または重複内容で、現在公的機関からの補助金や他の財団等から既に助成を受けているか、または受ける予定になっている場合(決定している場合)は、ご遠慮下さい。	② 研究助成(A):1件2,500千円以下 研究助成(B):1件5,000千円以下 ③ 研究助成(C):1件500千円	② 研究助成(A):2020年4月1日～原則1年 研究助成(B):2020年4月1日～2年 ③ 2020年4月1日～1年、2年または3年 ただし博士課程後期(または相当)への在学期間に限定

2019/9 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)
 ①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**
 ②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**
 ③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
9月6日	2019年9月30日 (月)	Web入稿	公益財団法人 東京生化学研究会 2019年度研究助成金・研究奨励金の募集	公益財団法人 東京生化学研究会 〒104-0031 東京都中央区京橋2-5-21 京橋NSビル9F TEL: 03-3562-5705(代表) FAX: 03-3562-5730 MAIL: grant@tokyobrf.or.jp http://www.tokyobrf.or.jp/application/h1	①創薬ターゲット・シーズ探索のための有機化学の新展開 ②細胞外マトリックスと細胞接着制御の基礎と応用 ③代謝と分子修飾に関する研究の新展開	我が国の大学・研究機関等において研究を行う研究者であること。 研究奨励金-I 左記テーマに関する研究に既に従事している、あるいはこれから従事する若い研究者(応募時40歳未満)に贈呈します。 研究奨励金-II 左記研究テーマにとらわれず、新たに独立して研究室を立ち上げた若い研究者(原則として45歳未満)に贈呈します。	研究助成金 2019年度の採択予定件数は上記3研究テーマにつき計7件以内とし、1件につき400万円(但し、2019年度200万円、2020年度200万円)を贈呈します。 研究奨励金-I 2019年度の採択予定件数は上記3研究テーマに対し計22件以内とし、1件につき150万円を贈呈します。 研究奨励金-II 2019年度の採択予定件数は10件以内とし、1件につき150万円を贈呈します。	2年
9月6日	2019年9月30日 (月)消印有効	郵送	公益財団法人三島海雲記念財団 「第9回2020年度 三島海雲学術賞」の募集	公益財団法人 三島海雲記念財団(事務局)山田・唐木田 〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-6-10 ジラップフェビル 電話: 03-5422-9898 FAX: 03-5422-9733 E-メール: mishimak15@mishimakaiun.or.jp https://www.mishimakaiun.or.jp/virtue/	自然科学部門 食の科学に関する研究 上記「食の科学」に関する学術とは、食品素材、製造・加工・調理、発酵・微生物利用、栄養・嗜好・生理機能、食の安全、疾病予防などに係る研究	●候補者の資格 国内外の学術誌等に公表された論文、著書、その他の研究業績により独創的で発展性のある顕著な業績を挙げている者のうち、下記の条件を満たす若手研究者。 1)45歳未満の者(2020年4月1日現在) 2)日本在住の研究者(国籍は問いません)及び海外在住の日本人研究者(日本国籍を有するもの)候補者の再度の推薦は可とします。 ●推薦者 1)本財団より推薦依頼を受けた学会及び大学等研究機関事務局の代表者 2)本財団の理事並びに評議員(但し、選考委員は除く) 1推薦者につき2件以内の推薦を可とします。	受賞者には賞状ならびに副賞1件当たり200万円)を贈呈します。	-
9月6日	2019年9月17日 (火)10:00 ~ 2019年10月16日 (水)23:59 まで	電子申請	公益財団法人日本科学協会 2020年度笹川科学研究助成の募集	公益財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成係 〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目2番2号 日本財団ビル5F TEL 03-6229-5365 Email:iousei@jss.or.jp https://www.jss.or.jp/ikusei/sasakawa/	学術研究部門:人文・社会科学および自然科学(数物・工学、化学、生物、複合、ただし医学を除く)に関する研究 その中でも『海に関する研究』は、重点テーマとして支援します。 実践研究部門: A.教員・NPO職員等が行う問題解決型研究 B.学芸員・司書等が行う調査・研究	学術研究部門:2020年4月1日時点で、大学院生あるいは所属機関等で非常勤または任期付き雇用研究者として研究活動に従事する方であって、日本に居住する35歳以下の方とします。 但し『海に関する研究』については、雇用形態を問いません。 実践研究部門:教員、学芸員、司書、カウンセラー、指導員、市民活動・地域活動等の専門的立場にある方などで、特に年齢は問いません。 なお、非常勤や嘱託等の方は、雇用期間内に調査・研究が終了することを条件とします。	学術研究部門:1件あたりの上限は100万円 実践研究部門:1件あたりの上限は50万円	2020年4月1日から2021年2月10日まで
9月6日	2019年10月31日 (木)消印有効	郵送	公益財団法人平和中島財団 ①2020(令和2)年度国際学術共同研究助成の募集 ②アジア地域重点学術研究助成の募集	公益財団法人平和中島財団 国際学術係 〒107-6033 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル33階 TEL03-5570-5261 FAX03-5570-5421 http://www.hnf.jp/iousei/	①対象分野は、特に限定しないが学際的な組織で行われる研究が望ましい。 ②アジア地域(中近東、シベリア等を含む。)に関するものであれば特に限定しない。	①我が国の大学(含:大学院大学)・大学共同利用機関の研究者及び海外の大学・研究機関等の研究者からなる共同研究グループとする。申し込みは研究代表者(我が国の常勤研究者)が行う。 ②我が国の大学(含:大学院大学)・大学共同利用機関の研究者及びアジア地域の大学・研究機関等の研究者からなる共同研究グループとする。申し込みは研究代表者(我が国の常勤研究者)が行う。	①1件につき500万円以内 ②1件につき150万円以内	2020年4月から2021年3月までに行われる共同研究

2019/9 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)
 ①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**
 ②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**
 ③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
9月6日	2019年10月31日(木)24時まで	電子申請	株式会社リバナス 第46回リバナス研究費の募集 ①エネルギー・エコシステム賞 ②日本ハム賞 ③クボタイノベーションセンター賞	株式会社リバナス 研究開発本部 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町1-4 飯田橋御幸ビル5階 TEL03-5227-4198 https://r.lne.st/2019/06/01/45th-taishopharma/	①低炭素社会を実現させるあらゆる研究 ②人と環境の未来を創る、食に関するあらゆる研究 革新的な食料生産・タンパク質生産/次世代型の農業・畜産・水産/食品加工・調理の新技術/ 食とスポーツによる健康増進/年代や体調に合わせた栄養/持続可能な食料生産を支える環境技術など、生産から消費の提案まで幅広い分野 ③農業の改革に繋がる全ての研究 農作業の省力化や精密化に限らず、農作物の加工、流通、販売も含めたフードバリューチェーンの革新、持続性向上に繋がる幅広い研究	大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 ・海外に留学中の方でも申請可能 ・研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能	研究費50万円	記載無し
9月6日	2019年10月31日(木)23時59分	電子申請	公益財団法人野口研究所 2019年度(令和元年度)野口遵研究助成金の募集	公益財団法人野口研究所 研究助成金事務局 〒173-0003 東京都板橋区加賀1-9-7 TEL03-3961-3255 FAX 03-3964-4071 E-mail:josei@noguchi.or.jp https://www.noguchi.or.jp/entry.php	課題1.ライフサイエンスの進展に寄与する研究 a医薬、b診断薬、c再生医療、d医療機器、e医用材料、fその他 課題2.エネルギー・資源・環境の革新に寄与する新プロセスや新材料に関する研究 g蓄エネルギー、h創エネルギー、i省エネルギー、j触媒化学、k反応開発、l錯体化学、mバイオマス、nその他 課題3.新しい電子材料やデバイスに関する研究 o電子材料、pデバイス、qセンサー、rその他	①国内の大学またはこれに準ずる研究機関に勤務する研究者。(今年度は常勤でなくても応募可能になりました。) ②39歳以下(1979年11月1日以降に出生)の研究者。 ③応募に当たり所属長の推薦が必要です。	1件につき原則220万円を贈呈し、使途は限定しません。	2020年3月に東京都内で贈呈式を予定。
9月6日	2019年10月31日(木) (郵送の場合は当日消印有効)	郵送またはEmail	公益社団法人日本河川協会 第22回(2020年)「日本水大賞」の募集	公益社団法人日本河川協会 日本水大賞委員会事務局 担当 上田(平日9:15~17:30) 〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5 麹町E.C.Kビル3階 TEL 03-3238-9771 FAX 03-3288-2426 E-mail:taisvo@japanriver.or.jp http://www.japanriver.or.jp/taisvo/	①水防災:例えば、以下の視点などから実施される諸活動 ・防災教育を地域や学校等で行っている ・住民避難の円滑化に関する新たな視点を用いた独自の取組みを行っている ・水災害に対する安全性の向上に資する技術を開発し、普及する(水災害に関わる情報をタイムリーに取得・伝達する、ハイクレ機器・文化財・ライフライン等を水災害から守る) ・雨をためる、しみこませる、ゆっくり流す ・河川の伝統的技術や災害体験の伝承等の啓発・普及 ②水資源:例えば、以下の視点などから実施される諸活動 ・水を大切にしている ・山や川などの水源を大切にしている ・水の様々な役割(農業用水、工業用水、水道用水) ③水環境:例えば、以下の視点などから実施される諸活動 ・川や湖沼、海などの水をきれいにしている ・水辺や水のある地域づくりを行う ・水にかかわる体験活動、環境学習を進める ④水文化:例えば、以下の視点などから実施される諸活動 ・水や川や湖沼、海などに対する敬意と親愛を高める ・水や川や湖沼、海などの文化を創り、広める(芸術、文学を含む) ・地域における水文化を発掘する、普及する ⑤復興:上記の①から④に該当する諸活動のうち、地域の復興の視点から実施されるもの	水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、以下のような方々が実施する諸活動を対象とします。なお、個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍等を問いません。 ①学校:・大学、専門学校などにおける研究や技術開発については、その成果が直ちに社会貢献につながるものを対象とし、いわゆる純粋な学術研究にとどまっているものを除く	①大賞【グランプリ】(賞状・副賞200万円) ②大臣賞(賞状・副賞50万円) ③市民活動賞【読売新聞社賞】(賞状・副賞30万円) ④国際貢献賞(賞状・副賞30万円) ⑤未来開拓賞(賞状・副賞10万円) ⑥審査部会特別賞(賞状・副賞10万円) ⑦タイムリー賞(この賞は日本水大賞委員会において選定します。(公募はしません))	-
8月23日	2019年9月30日(月)必着	郵送	一般社団法人日本ペット栄養学会 日本ペット栄養学会研究奨励金の公募	一般社団法人日本ペット栄養学会事務局 〒164-0003 東京都中野区東中野4丁目27-37 株式会社アドスリー内 TEL:03-5386-7255 FAX:03-5386-7256 http://www.ispan.net/svougakukin/	ペット栄養に関する研究全般	応募者は日本ペット栄養学会会員、非会員の別は問わない。ただし、非会員の場合には、採択後、代表者が日本ペット栄養学会に入会すること。代表者が学生の場合は、指導教員の氏名を明記し、指導教員が応募条件の遵守ならびに研究費の経理に責任を持つこと。	奨励金50万円	-

2019/9 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

- ①各種財団等の定める提出期限の2週間前
- ②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、休暇を除く提出期限の10業務日前
- ③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
8月23日	2019年9月30日 (月)18:00まで	山田養蜂場 応募・コミュニケーションシステム (Bee-RAC) から応募	山田養蜂場 共同研究者 募集	山田養蜂場共同研究公募事務局 (株式会社メディプロデュース内) 担当 中林貴美子 奥村 玲 TEL:03-5775-6070 Email:bee-lab@mediproduce.com 応募・コミュニケーションシステム (Bee-RAC): http://www.bee-rac.com/users/sign_in	1)幹細胞に対するローヤルゼリーの作用 ▼細胞種 筋幹細胞、毛包幹細胞、色素幹細胞、眼幹細胞、生殖幹細胞、肝幹細胞、腎幹細胞、神経幹細胞、皮膚幹細胞、腸上皮幹細胞、血管内皮幹細胞 ▼試験レベル in vitro 試験、in vitro 試験、臨床試験 2)認知機能に対するプロポリスの有用性 (1)臨床試験による、プロポリスの認知機能低下予防に繋がる作用機序の解明 (2)動物モデルを用いたプロポリスの認知機能低下抑制の作用機序の評価	・幹細胞または認知機能に関する研究実績がある。 ・臨床試験テーマを応募する場合、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(H26.12.22:文部科学省、厚生労働省)」を遵守して臨床試験を実施できる。さらに、臨床試験の実績がある(共同研究者の実績も可)。 ※他の助成金・公的資金から助成を受けている研究は対象外となります。	ヒト試験 【上限1,000万円(間接経費含む)】 細胞・動物試験 【上限500万円(間接経費含む)】	研究期間などの条件の詳細は、共同研究候補として内定した後の、弊社担当者との面談を経て最終決定いたします。
8月23日	令和元年10月7日 (月)18時(厳守)	電子メール	内閣府 第2回 日本オープンイノベーション大賞の募集	内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当) イノベーション創出環境担当 (担当:中島、森田) 電話番号:03-5253-2111(代表) https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/prize/index.html	表彰の対象: ・連携の工夫や仕組みづくり等において優良な事例又は着想 科学技術イノベーション創出に係る活動において、外部と連携する際の工夫や仕組みづくり等において先導性又は独創性が認められるもの ・将来の社会や産業の在り方に革新をもたらすこと等が期待される事例又は着想 持続可能な開発目標(SDGs)をはじめ、現在から将来に渡り存在する若しくは出現することが予想されるニーズや課題の解決等を通じて、社会や産業の在り方に革新を起こすことが期待される先導的又は独創的なもの ・その他科学技術イノベーション創出に係る活動の推進に資する事例又は着想等 その他、科学技術イノベーション創出に係る活動の推進に多大な貢献若しくは他の模範となることが期待されるもの	① 当該の取組・プロジェクトで中心的な役割を担う者であること ② 国籍は問わない ③ 禁固刑以上の刑歴がないこと ④ 反社会的勢力又はそれに関わる者との関与がない	表彰式・記念シンポジウムは令和2年2月に東京都内で開催予定	-
8月23日	令和元年10月31日(木)	郵送	公益財団法人伊藤記念財団 ①第5回伊藤記念財団賞募集 ②令和2年度 学会等事業助成募集	公益財団法人伊藤記念財団 〒153-8587 東京都目黒区三田一丁目6番21号 電話:03-5720-8611 FAX:03-5720-8612 E-mail:office@itokinenzaidan.or.jp https://www.itokinenzaidan.or.jp/itokinenzaidan/recommend/	①食肉に関する学術上の研究(食肉の製造加工、食品の価値及び食品安全分野並びに食肉生産に関わる遺伝育種、繁殖、飼養、飼料及び衛生分野) ②助成の対象とする学会又は研究会等(以下「学会等」)は、研究水準が十分高く、経理的基礎と会員の広がりのあるものとし、 学会等が実施主体となつて行う①研究者等の海外研究会への派遣、②国内での国際研究会の開催及び③国内学会・研究会時におけるセミナー等の開催に要する経費の一部に対して助成します。	①食肉に関する学術上の研究(食肉の製造加工、食品の価値及び食品安全分野並びに食肉生産に関わる遺伝育種、繁殖、飼養、飼料及び衛生分野)に優れた業績が認められ、将来の活躍が期待される研究者であつて令和2年4月1日時点で満50歳以下の者を対象とします。 当財団が指定する学会等、当財団の理事、評議員、専門委員又は大学、独立行政法人、公立研究機関等からの推薦を必要とします。 ②記載なし。	①伊藤記念財団賞は、3件以内とし、賞状及び研究奨励金200万円を贈呈 ②対象とする学会等に対して、概ね50万円以上200万円以内の範囲	-

2019/9 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

- ①各種財団等の定める提出期限の2週間前
- ②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、休暇を除く提出期限の10業務日前
- ③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
8月23日	令和元年10月31日(木)まで必着	電子メールまたは郵送	公益財団法人薬力学研究会 2019年度 研究助成金応募	公益財団法人 薬力学研究会 事務局 〒113-8519 東京都文京区湯島1丁目5番45号 東京医科歯科大学内 TEL:03-5803-5987 FAX:03-5803-5981 Email:yakuriki.tcd@tmd.ac.jp http://yakuriki.umin.jp/	記載無し	・日本国内の大学・研究機関等に在籍する研究者。 ・2019年4月1日現在40歳以下の研究者、ただし、産前・産後休業又は育児休業を取った者は、40歳以下の制限に、その日数を加算することができる。	1件当たり100万円を4件程度助成する。	助成期間は1年を原則とします(助成金は贈呈後、通常は1年間で使用されることとなります)。研究の性質上1年を超えるものについても弾力的に対応させていただきます。
2019/8/2	令和元(2019)年9月27日(金)	郵送	公益財団法人小林財団 第1回小林賞受賞候補者推薦	財団ホームページに掲載はありません。申請される方は、学術支援課(kenkyu@azabu-u.ac.jp)にお問い合わせください。 公益財団法人小林財団東京事務所 〒106-0032 東京都港区六本木1-7-27 全特六本木ビルEast 5F TEL 03-5575-7525 FAX 03-3505-5377 E-mail:info@kisf.or.jp	医学、薬学、農学、工学、理学などの生命科学に関する分野において、独創的な研究を行い、顕著な成果を挙げ、さらにその後も当該研究分野の発展が期待される国内の研究者を対象といたします。	以下の推薦を受けた者 小林賞の推薦は、次に依頼いたします。 (1)本財団より推薦依頼を受けた学会等の長 (2)本財団より推薦依頼を受けた大学の各学部及び研究機関の長 提出書類等 (1)推薦書(和文又は英文):オリジナル1部、コピー10部 (2)主要文献5篇の別刷:各10部(写し可)及び電子媒体各1部(推薦書の「主要となる文献リスト」に○印を付した文献5篇)	小林賞の贈呈式は令和2年3月30日(月)に開催いたします。 1賞につき、賞状、賞牌および副賞3,000万円を贈呈(1件)。 なお、受賞者には、受賞の対象となった研究に関する記念講演をしていただきます。	選考結果は、令和2年2月上旬に、推薦人及び本人に文書で通知します。
2019/8/2	2019年9月17日(火)から2019年10月16日(水)23:59まで	電子申請	公益財団法人日本科学協会 2020年度笹川科学研究助成	公益財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成係 〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目2番2号 日本財団ビル5F TEL 03-6229-5365 Email:iousei@iss.or.jp https://www.iss.or.jp/ikusei/sasakawa/	【学術研究部門】 人文・社会科学および自然科学(数物・工学、化学、生物、複合、ただし医学を除く)に関する研究。 その中でも『海に関する研究』は、重点テーマとして支援します。 【実践研究部門】 A 教員・NPO職員等が行う問題解決型研究学校、NPOなどに所属している方が、その活動において直面している社会的諸問題の解決に向けて行う実践的な研究。 B 学芸員・司書等が行う調査・研究学芸員・司書等が博物館や図書館等の生涯学習施設の活性化に資する調査・研究。また、所属機関とは別の機関や、大学、自治体などの異分野の機関・施設と連携した研究も歓迎。	【学術研究部門】 2020年4月1日時点で、大学院生あるいは所属機関等で非常勤または任期付き雇用研究者として研究活動に従事する方であって、日本に居住する35歳以下の方とします。 但し『海に関する研究』については、雇用形態を問いません。 【実践研究部門】 教員、学芸員、司書、カウンセラー、指導員、市民活動・地域活動等の専門的立場にある方などで、特に年齢は問いません。 なお、非常勤や嘱託等の方は、雇用期間内に調査・研究が終了することを条件とします。	【学術研究部門】 1件あたりの助成額の上限は100万円 【実践研究部門】 1件あたりの助成額の上限は50万円とします。	2020年4月1日から2021年2月10日までに達成成果をとりまとめられるものとします。
2019/8/2	2019年9月30日(月)	Web申請	公益財団法人放送文化基金 2019年度 放送文化基金助成	公益財団法人 放送文化基金 〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町41-1 第一共同ビル5F Tel:03-3464-3131 Fax:03-3770-7239 https://www.hbf.or.jp/grants/article/guideline_grants	①技術開発/放送技術に関する研究・開発 ・将来の新しい放送システムに関する研究・開発 ・放送・通信融合時代における映像・音響の新しい放送サービスに関する技術の研究・開発 ・コンテンツの撮影・生成、記録、編集、保存等の制作技術に関する研究・開発 ・送信、受信、伝送、再生または表示の技術に関する研究・開発 ・映像・音響にかかわりのある基礎的研究および人間の生理・心理等に関する研究 ②人文社会・文化/放送に関する人文・社会科学的な調査・研究、および文化的な事業 ・放送の社会的、文化的、教育的な役割、影響、効果に関する調査・研究 ・放送の法制度、倫理に関する調査・研究 ・番組の開発、向上、評価に関する調査・研究 ・新しい放送サービスを取り入れた番組に関する調査・研究 ・放送とかわりの深い文化の振興、保存のための事業 ・放送を通じた地域の活性化や放送に関する人材育成、国際協力事業	放送に関連する調査、研究または事業を行う団体もしくは個人とする。ただし、放送事業者の本来業務に対しては助成を行わない。	6,000万円を予定(1件当たり申請限度額500万円)	2020年4月~2021年3月に実施する研究・開発・事業

2019/9 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

- ①各種財団等の定める提出期限の2週間前
- ②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、休暇を除く提出期限の10業務日前
- ③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
2019/8/2	令和元年9月中旬～11月中旬(予定) ※予告情報のため、公募についての詳細は公式サイトにてご確認ください。	—	国立研究開発法人 科学技術振興機構 「地球規模課題対応 国際科学技術協力 プログラム」の令和2年 度研究課題の募集に ついて(予告) ※対象分野、研究期 間、予算規模と内訳な どについては、昨年度 公募時の情報です。	国立研究開発法人 科学技術振興 機構 ●環境・エネルギー/ 生物資源/ 防 災分野 JST 国際部SATREPSグループ担 当:猿渡、齋藤 〒102-0076 東京都千代田区五番町 7 東京本部別館 K's五番町ビル E-mail: global@ist.go.jp Tel: 03-5214-8085 ●感染症分野 AMED 国際事業部国際連携研究課 担当: 朴、大橋 〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-1 読売新聞ビル E-mail: amed-satreps@amed.go.jp Tel: 03-6870-2216 https://www.amed.go.jp/content/000048304.pdf	【JST】環境・エネルギー/ 生物 資源/ 防災【AMED】感染症	※予告情報につき記載がないため、詳細に ついては、公式サイトにてご確認ください。 ※公募説明会 ●東京会場(環境・エネルギー/生物資源 /防災分野) 日時:9月17日(火)14時00分～16時00分頃 会場:国立研究開発法人 科学技術振興機 構(JST)東京本部別館1階ホール ※ 事前の参加登録は不要です。 ●東京会場(感染症分野のみ) 日時:9月25日(水)14時00分～16時00分頃 会場:国立研究開発法人 日本医療研究開 発機構(AMED)20階 205会議室 ※ 説明会にご参加いただくには、事前の参 加登録が必要です。下記「参加申込み フォーム」からお申込みください。	1課題あたり1億円 程度/年 【内訳】 JST/AMED:委 託研究経費3,500 万円程度/年 JICA:ODA技術協 力経費6,000万円 程度/年	3～5年
2019/7/18	令和元年9月30日 (月)	電子申請 web	公益財団法人日本教 育公務員弘済会 令和2年度日教弘本 部奨励金の公募につ いて	公益財団法人日本教育公務員弘済 会 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-6 教弘 会館内 担当:事業課 TEL:03-3354-4001 E-mail:ko-eki@nikkyoko.or.jp https://www.nikkyoko.or.jp/business/education.html#menu-title08	次年度(令和2年度)を行う、初 等中等教育及び幼児教育の向 上発展に寄与する全国規模の 有益な研究・活動等	国公立大学院、大学、短期大学、高等専門学校 等の教育機関に所属している教職員、大学院 生とします。 ① 幼児・児童・生徒の教育の向上発展に寄与 する研究・活動であれば、学部等は問いません。 ② 応募者が計画の推進に責任を持ち、助成金 の管理及び報告を行うことを条件とします。た だし、所属組織が助成金の管理を行うことが出 来る方に限ります。 ③ 一定期間日教弘本部奨励金の助成を受けて いない方に限ります。(一度助成を受けている場 合は、研究完了年度の翌々年度以降から応募 することが可能です) ④ 日教弘本部奨励金と日教弘支部奨励金に重 複申請はできません。 ⑤ 原則として、令和2年度(2020年4月1日 から2021年3月31日)1年間で完了する研究・活動等 に限りします。	1件あたり100万円 以内	令和2年度(2020年 4月1日から2021年3 月31日)1年間
2019/7/18	2019年10月21日 (月)必着	郵送	(公財)飯島 藤十郎 記念食品科学振興財 団 2019 年度 学術研究 助成募集要領	(公財)飯島藤十郎記念食品科学振 興財団 担当 細谷(ほそや) 〒272-0034 千葉県市川市市川1丁 目9番2号サンプラザ35ビル6F TEL: 047-323-5580 FAX: 047- 323-6400 E-mail :info@iiijima-kinenzaidan.or.jp http://www.iiijima-kinenzaidan.or.jp/collection/collection.html	米麦その他の主要食糧等を原 料とする食品に係る食品科学 等の研究領域で以下に具体的 な研究分野を例示します。 生産・加工/成分分析/食品 の機能・栄養/安全・衛生・ 保存・貯蔵/物性、品質、 調理/食品 素材として利用さ れる乳、卵、豆 などが及びそ れらの成分の研究/食品素 材として利用される澱粉・多糖 類、油脂の研究/食品 製造に 利用される発酵・微生物の研 究/食品科学との学際的研究 など	日本国内の大学、短期大学、高等専門学校及 び 公的研究機関において 食品に関する 研究 を行う研究者及び研究グループ。 大学院及び学部の学生、研究生並びに企業所 属の研究者は募集対象といたしません。	① 個人研究助 成:単独研究を対 象とし、1件当 たり100万円から2 50万円まで、40 件内外とします ②共同研究助成: 代表研究者は100 万円以上とする 他、共同研究者 の下限は設定し ませんが、代表 研究者と研究機 関の異なる100万 円以上の研究者 が1人以上加 わることとしま す。1件当たり 200万円から5 00万円まで、8 件内外とします。	1カ年(2020年4月 から2021年3月)

2019/9 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

- ①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**
- ②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**
- ③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
2019/7/18	2019年10月31日 (木)	電子申請	博報財団 HAKUHO FOUNDATION 第15回 児童教育実践について の研究助成	公益財団法人博報児童教育振興会 研究助成事業担当 〒107-0052 東京都港区赤坂2-11-7 ATT新館8階 TEL 03-5570-5008 FAX 03-5570-5016 https://www.hakuhofoundation.or.jp/subsidy/?utm_source=google&utm_medium=cpc&utm_campaign=2019promotion&gclid=EAIaIQobChMIz7AxxG74wIVVqmWCh0o9Au9EAAAYASAAEgKYifD_BwE	子どもたちのあらゆる成長の礎となる「ことばの力」を育む研究や、児童教育実践の質を向上させる研究 ※対象は小・中学生となります。ただし、児童教育への反映が明確な場合に限り、幼児教育、高校生に関する研究も可とします。 ◎「ことばの力」を育む研究 ・国語・日本語教育の諸分野における研究 ・あらゆる学びの場におけることばの教育に関する研究 ◎ 児童教育実践の質を向上させる研究 ・多様な場における教育実践の質を向上させる研究	・日本の大学・研究機関に所属する研究者(例えば准教授、講師、助教、博士課程の院生等。若手支援のため、教授やそれに相当する職は除く。) ・日本の学校・教育委員会に所属する教育実践に携わる方(例えば教諭、指導主事、相談員、特別支援教育の支援員等。)	・(1カ年助成):1件につき200万円を限度に助成します。 ・(2カ年助成):1件につき300万円を限度に助成します。	1年間または2年間
2019/7/5	2019年9月30日 (月)	電子申請 web	公益財団法人 加藤記念バイオサイエンス振興財団 第31回(2019年度)加藤記念研究助成募集	公益財団法人 加藤記念バイオサイエンス振興財団 事務局 〒194-8533 東京都町田市旭町3丁目6番6号 電話:042-725-2576 FAX:042-729-4009 E-mail:zaidan@katokinen.or.jp https://www.katokinen.or.jp/applications/3_1ken_zyo.html	(1)M分野「メディカルサイエンス分野」 (2)B分野「バイオテクノロジー分野」以上合計23件程度 (3)E分野「環境バイオ分野」4件程度	バイオサイエンスの基礎分野において、独自の且つ先駆的研究をめざす国内の若手研究者 国内の大学又は公的研究機関に所属している研究者 M分野B分野 40歳以下 E分野 35歳以下	M分野B分野 1件当たり200万円 E分野 1件当たり100万円	2020年4月から 2022年3月(2年間)
2019/6/27	2019年9月30日 (月)必着	郵送	一般社団法人 日本競走馬協会 2019年度競走馬生産育成研究助成事業 助成課題募集	一般社団法人 日本競走馬協会 〒106-0041 東京都港区麻布台2-2-1 麻布台ビル 電話 03 3505 3445 FAX 03 3505 3455 https://www.jrha.or.jp/about/kenkyu.html	(1)競走馬に関する研究 ①競走馬の生産、育成、調教に関する研究 ②競走馬の流通に関する研究 (2)競走馬に関する研究成果情報の収集 競走馬に関する国内外の研究 成果情報の収集	対象事業に掲げる研究等を行う日本国内の大学とします。	助成金額は、 2の(1)は1件当たり年間300万円を上限、2の(2)は1件当たり年間100万円を上限とし、研究計画等を審査した上で、協会が決定します。	助成対象期間は、 2020年1月1日から12月31日までの1年間。
2019/6/14	2019年9月26日 (木)必着	e-mail(電子データ)締切当日必着 及び 郵送は締切当日消印有効	公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団 中谷賞候補者推薦募集	公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団 事務局 〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目2番2号 アトヴィレッジ大崎セントラルタワー8階 E-mail: info-award@nakatani-foundation.jp https://www.nakatani-foundation.jp/business/	医工計測および関連技術生体、その構成体(分子、細胞小器官、細胞、臓器など)および薬物動態を対象にした計測技術、情報解析技術などに関する研究であり、医療、健康管理、介護などに関して有用な情報を与えるもの。	中谷賞大賞:1.医工計測技術について優れた業績を挙げ、現在でも活発な研究活動を行っている研究者であること。 2.表彰対象研究分野に関連する学会の会員または大学およびこれに準ずる研究機関に属する者または属していた者。 中谷賞奨励賞:1.医工計測技術について独自の研究をしていること。 2.将来有望な研究者で、原則として応募締切時45歳以下であること。 3.表彰対象研究分野に関連する学会の会員または大学およびこれに準ずる研究機関に属する者または属していた者。	中谷賞大賞500万円(1件) 中谷賞奨励賞250万円(2件)	-
2019/6/14	2019年9月30日 (月)	助成金Web申請のページより応募	公益財団法人上原記念生命科学財団 2019年度 国際シンポジウム開催助成金	公益財団法人上原記念生命科学財団 〒171-0033 東京都豊島区高田3丁目26番3号 Email: mail85@ueharazaidan.or.jp https://www.ueharazaidan.or.jp/grants/login/	生命科学、特に健康の増進、疾病の予防および治療に関連する、以下のすべての要件を満たす国際的な研究集会 (1)わが国で単独に開催される国際シンポジウムであること。 (国内学会との合同または共同開催、併催等のシンポジウムは対象外とする。) (2)原則として、参加者100名以上、かつ海外からの参加者が10名以上であること。 (3)2020年1月から12月末までに開催されること。 (4)研究機関同士の連絡会議や研修会は対象外とする。	会議の主宰者(組織委員長・募金委員長等)または募金責任者とする。 なお、申請者は日本在住の者に限る。 注)企画会社等からの応募は受け付けません。	原則として1件100万円以内 助成総額は3,000万円以内	2020年1月から12月末までに開催されること。

2019/9 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

- ①各種財団等の定める提出期限の2週間前
- ②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、休暇を除く提出期限の10業務日前
- ③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
2019/6/14	2019年9月26日 (木)	郵送または Email	文部科学省研究振興局振興企画課 奨励室 令和2年度科学技術 分野の文部科学大臣 表彰 ※(3)創意工夫功労 者賞	文部科学省研究振興局振興企画課 奨励室 〒100-8959 東京都千代田区霞が 関3-2-2 電話番号:03-5253-4111 (内線4231,4233,4071)、 03-6734-4071(直通) メールアドレス:sinsvore@mext.go.jp kagihvosvo@mext.go.jp(提出専用) http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1417596.htm	表彰の種類によって異なるため詳細はHPを参照	・海外を拠点に研究活動等を行っている日本国籍を有する者について、文部科学大臣表彰科学技術賞研究部門又は若手科学者賞に推薦する場合は、機関推薦にかかわらず機関の長(個人として)、部局長又はこれらに準ずる者からの推薦も可能とする(個人推薦)。ただし、3名の推薦書を提出すること。 ・同一人物の重複推薦を避けるため、他機関に所属する者を推薦する場合は、事前に当該機関の了解を得ておくこと。 ・文部科学大臣表彰科学技術特別賞については、文部科学省に設置された科学技術分野の文部科学大臣表彰審査委員会において随時、選定するものとし推薦は受け付けていない。	-	-
2019/6/14	2019年9月30日 (月)必着	郵送または Email	一般財団法人 ホーユー科学財団 2020年度研究助成募集	一般財団法人 ホーユー科学財団 事務局 〒480-1136 愛知県長久手市榑木1-12 担当者直通電話番号:090-8506-2856 https://www.hoyu.co.jp/zaidan/subsidiary/	1) 毛髪科学に関する研究 ・毛髪の変質変化・発生機序 ・毛髪における化学変化や物性変化を可視化する方法 ・メラニン顆粒の生成機序・構造・組成の解明 2) 皮膚科学に関する研究 ・皮膚感覚に関する研究(痛み、かゆみの評価方法、刺激発生機序の解明など) ・皮膚の恒常性に関する研究 ・乾燥肌、敏感肌等の皮膚状態に関する研究 3) 薬理学に関する研究 ・アレルギーの発症機序解明に関する研究(特に遅延型) ・免疫学に関する基礎研究 ・動物実験代替法に関する研究(アレルギー評価方法の開発など)	対象研究に従事する国内の国公立大学(含付属研究機関)または国公立研究機関に所属する研究者とします。 応募は個人研究を対象とします。共同研究者がいても問題ありません。 また、1人1件を原則としますが、研究課題が異なる場合、複数申請を認めます。	1件50万円、理事会にて特に評価されたテーマは100万円	2020年4月1日～ 2021年3月31日
2019/6/14	2019年9月30日 (月)(消印有効)	郵送	(公財)木原記念横浜生命科学振興財団 第28回 2019年度木原記念財団学術賞の候補者推薦について	(公財)木原記念横浜生命科学振興財団 担当:渡部 〒230-0045 神奈川県横浜市鶴見区末広町1-6 Tel:045-502-4810、Fax:045-502-9810、 E-mail:watanabe@kihara.or.jp http://kihara.or.jp/news/news/28.html	推薦者は学会、大学(学長・学部長、研究所長)、研究機関等の代表者、木原記念財団学術賞受賞経験者(特別賞・応用科学賞含む)とし、1推薦者からの推薦は、原則として1件とします。	生命科学分野の50歳以下(2019年9月30日締切日現在)の国内の研究者で、高い基礎研究レベルを持つ優れた独創的研究であって、すでにインパクトのある研究成果を上げつつも今後のさらなる発展が大きく期待できる研究を行っている方とします。 ただし、推薦の研究課題で他の著名な賞を受けていないこととします。	木原記念財団学術賞は毎年原則として1件とし、賞状及び賞金200万円を贈呈します。	-
2019/5/22	現在募集中 ただし、提携が決まった場合などは予告なく、募集を終了させていただきます。	web申請 (応募フォームより)	大日本住友製薬 ①研究開発シーズ募集型(随時募集)	大日本住友製薬株式会社 〒104-8356 東京都中央区京橋1-13-1 TEL:080-4069-2204 https://www.ds-pharma.co.jp/prism/seeds.html	本取組は、皆さまが研究開発を進めている医薬候補品を弊社と提携(ライセンスや共同研究開発など)することによって、革新的な医薬品創出の早期実現を目指すプログラムです。	募集要項を満たす医薬候補品を保有されている方。所属(大学・研究機関・企業など)は問いません。	記載無し	記載無し
2019/5/7	国際会議の開催月により、年4回の受付を行う。 申請区分/ 国際会議開催月/ 申請書受付期間/ 採否通知 冬季/ 1月～3月/ 2019年8月21日(水)～2019年11月20日(水)/ 12月中旬 春季/ 4月～6月/ 2019年11月21日(木)～2020年2月20日(木)/ 3月上旬	電子申請 web及び書類申請 郵送	公益財団法人内藤記念科学振興財団 ①内藤記念講演助成金	公益財団法人 内藤記念科学振興財団 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-42-6 南江堂ビル 8階 TEL 03-3813-3861 FAX 03-3811-2917 E-mail:ioseikin@naito-f.or.jp URL https://www.naito-f.or.jp/	自然科学の基礎的研究に関する国内で開催される国際会議の開催に対し、費用を補助するものである。 推薦件数:当財団の理事・監事及び評議員の場合1推薦者につき年間2件 当財団の指定した学会の代表者の場合1推薦者につき年間1件	大学、研究機関に所属する者が主催する自然科学の基礎的研究に関する国内で開催される国際会議(シンポジウム、講演会)の開催責任者(主催者)。 国際会議とは、参加者総数が50名以上で、かつ参加国が日本を含む2カ国以上を占める会議をいう。 なお、下記の集会の開催責任者は対象外とする。 ①国内で開催される学術集会の定例的な年會や季會 ②当該年度に既に当財団が採択した助成金と同一のシンポジウム、講演会 当財団の理事・監事・評議員及び選考委員による申請は原則行わない。 ただし、助成金を個人のために使用しないことが明白な場合にはこの限りではない。	上限は1件50万円	-

2019/9 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等:(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

- ①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**
- ②年末年始,長期休暇等が含まれる場合は,**休暇を除く提出期限の10業務日前**
- ③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
2019/5/7	2019年9月30日 (月)	書類申請 郵送	公益財団法人 日本ビフィズス菌センター 日本ビフィズス菌センター研究奨励賞	公益財団法人 日本ビフィズス菌センター 〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-24-12 アーバンポイント巢鴨4階 TEL 03-5319-2669 FAX 03-5978-4068 E-Mail: jbf@jpec-pub.co.jp https://bifidus-fund.jp/shourei/rule.shtml	奨励賞は腸内細菌に関する広い分野(腸内細菌学・腸管免疫学・感染防御学・プロバイオティクス・プレバイオティクス等)において、学術上または産業上将来の発展を期待し得る優秀な研究業績をあげた個人に対し授与する。	奨励賞の受賞資格は、前項に規定するもののほか、受賞年の4月1日において原則として満40歳以下とする。	授賞年度内に開催される腸内細菌学会において、賞状と副賞(10万円)を贈る。	記載無し
2019/5/7	2019年9月27日 (金)必着	書類申請 郵送	文部科学省 平成31年度パテントコンテスト及びデザインパテントコンテスト	「2019年度パテントコンテスト/デザインパテントコンテスト」事務局 (株式会社ステージ内) 〒171-0042 東京都豊島区高松1-1-11 TEL 03-3554-5049 MAIL: patentcontest2019@stage.ac https://www.patentcontest.inpit.go.jp/index.html	(1)「特許法に定める発明」であること。 (ゲームのルールなど人為的な取決めや、単なる自然法則そのもの、フオークボールの投げ方などの技能等は特許法上の「発明」には該当しません。) (2)応募者の創作であること (他人のアイデアではないこと)。 (3)公に発表されていないこと。 (4)他のコンテストに応募を行っていないこと。 (5)本コンテストとは無関係に既に特許出願等を行ったものでないこと。	日本国内の学校及び大学に在籍する以下のいずれかに該当する生徒、学生等であること。ただし、社会人経験を有しないこと	①主催者賞 ● 選考委員長特別賞 ● 日本弁理士会会長賞 ● 独立行政法人工業所有権情報・研修館 理事長賞 ● 震災復興応援賞 ● 文部科学省 科学技術・学術政策局長賞1 ② 特許庁長官賞1 ③ 優秀賞(特許出願支援対象)	記載無し